

# 三次地区

## まちづくり

## ビジョン



もっと!

～ もっと もっと いい町へ ～

三次地区自治会連合会では、地域のみなさん・各種団体・行政との連携により、「歴史的環境を活かし、住んでいることに誇りのもてるまち」をめざした活動に取り組んでいます。

三次地区では、文化会館跡地に「三次もののけミュージアム」、「文化・観光まちづくり交流館」が建設され、いよいよこの施設を核としたまるごと博物館事業による町の賑わいづくりに向けた取組みを具体的に進めていく段階に入りました。

この「まちづくりビジョン」は、各地区の自治会を通して町民のみなさんからいただいた意見をふまえ、今後の社会環境の変化の中で、地域の資源を活かし人とのつながりを基本としたまちづくりを進めていくための、私たちの共通の目標としてまとめたものです。

もっと!

私たちの三次地区が、「もっと もっと いい町へ」となるよう、みんなで力を合わせましょう。

令和元年8月

三次まちづくりビジョン策定委員会・三次地区自治会連合会

まちの将来像

いいまちだ  
みんなにっこり  
たすけあい

# 歴史的環境を活かし 住んでいることに誇りのもてる まち

## 三次市発祥の地…今のすがた

- ・約 400 年前～昭和まで  
三次の中心のまち
  - ・官公庁などの撤退
  - ・商店街の衰退
- ⇒人口減少，少子高齢化，  
空き家・空き店舗が増加

## 歴史と町並み…町の宝

- ・豊かな自然環境：  
三川合流部，尾関山，比熊山
  - ・古風な町並み：  
歴みち，神社仏閣，小路
  - ・歴史文化資源：  
三次人形，稲生物怪録など
- ⇒自然・歴史など  
活用可能な町の資源

## 活気ある町…未来へ

- ・新たな拠点施設(もののけミュージアム，交流棟)の開設
  - ・山や川に親しむ環境
  - ・さくらが楽しめる空間
  - ・空き家・空き店舗の利活用
- ⇒資源を活かし，楽しい未来へ



## 基本施策

# にぎわいを創る いのちを守る くらしを支える



～私たちは、私たちの住んでいる町「三次地区」（日山地域，三原町，三次町）を，私たちの経験と知恵，そして助け合いと行動によって「もっと もっと “もっと” いい町へ」とめざしていきます。

基本施策に基づく「まちづくり」をみんなで考え実践していきましょう。～

## にぎわいを創る

- ・山並みを活かしたまちづくり
- ・川並みを活かしたまちづくり
- ・町並みを活かしたまちづくり
- ・文化・芸術を活かしたまちづくり

## いのちを守る

- ・安全・安心のまちづくり
- ・健康・元気なまちづくり

## くらしを支える

- ・若者が住んでみたくなるまちづくり
- ・こどもの笑顔が輝くまちづくり
- ・町民が互いに助け合えるまちづくり



次のような取組を通じて、まちの将来像に近づけていきましょう。

山並みを  
活かした  
まちづくり

- シンボルマウンテン(地域の象徴の山)の整備と活用
  - ・比熊山城跡・登山道の整備
  - ・尾関山の桜・モミジを活用し景観整備(年中楽しめる空間へ)

川並みを  
活かした  
まちづくり

- 桜を活かした河川土手の景観整備(旭町公園, 寺戸土手)
- 河川環境美化活動(町民清掃)
- 「かわまちづくり」事業への参加(かわまち cafe)

町並みを  
活かした  
まちづくり

- 小路を活かしたまちめぐりの実施(案内板設置, ガイド養成)
- 憩いの場となるポケットパーク(小公園)の整備
- まちめぐりへの鉄道資産の活用(旧尾関山駅他)
- 各家庭の前に花壇(プランター)設置による, おもてなしの環境づくり
- 空き家・空き店舗のリノベーションによる「憩いの空間」整備
- ゴミステーションの統一したデザインによる美観づくり

文化・芸術を  
活かした  
まちづくり

- 町全体が歴史「まるごと博物館事業」の推進
  - ・三次地区拠点施設(三次もののけミュージアム, 交流館)との連携
  - ・まちなかギャラリーの推進
- 「寿三郎人形館」・「木綿兎」との連携

安全・安心の  
まちづくり

- 危険箇所(通学路他・危険家屋)の点検
- 自主防災組織との連携
  - ・避難訓練の実施, 要支援者サポート, 避難マップ作成
- 地区内見回り活動(青色防犯パトロール・町内見回り隊)
- 安心して生活できる基盤整備(上水道・道路)
  - ・三原地区上水道の整備の実現に向けた取組み
- 歩行者にやさしい・まち(「ゾーン30」の遵守)

健康・元気の  
まちづくり

- 季節に応じた健康ウォーキングの実施
- 健康寿命を延ばす活動・地域の支え合い(ふれあいサロン)
- 快汗体験! みんなが参加できる各種スポーツ大会の開催

若者が住んで  
みたくなる  
まちづくり

- 移住・定住希望者へのサポート(相談窓口の設置)
- 子育て世代の交流
- 若者に魅力ある地域資源の活用と情報発信(妖怪, アニメの聖地)
- 空き家の調査と活用に向けた情報提供(集落支援員の配置)

こどもの笑  
顔が輝く  
まちづくり

- 子どもたちが参加するまちづくり
  - ・屋外イルミネーションまちづくりの標語
  - ・小中学校「全校清掃ボランティア活動」
  - ・ふれあいフェスティバルへの参加・発表
- スポーツ少年団活動への支援と交流
- 保育所・小学校・中学校・地域との連携(4者3世代交流)

町民が互いに  
助け合える  
まちづくり

- みんなが主体となって取り組み, 参加するイベントの開催
  - ・盆踊り大会, ふれあいフェスタ, 旭土手清掃活動
- 学び続ける楽しさをサポート
  - ・ふれあい塾, 各種講座の開催
- みんなで支え合う自治会の基盤強化
  - ・自治会加入促進の取組
  - ・持続可能な自治会組織構成の検討



**【人口等の（日山地区・三原町・三次町）比較】**

	平成16年5月1日現在※		令和元年5月1日現在※	
人 口	日山地域	246人	日山地域	164人
	三原町	170人	三原町	121人
	三次町	4,965人	三次町	4,219人
世帯数	日山地域	73世帯	日山地域	74世帯
	三原町	58世帯	三原町	56世帯
	三次町	2,094世帯	三次町	1,979世帯
小学校 児童数	(三次小・三次西小合計) 338人		256人	
中学校 生徒数	195人		145人	

※児童・生徒数の基準日（5月1日）で比較。

**【地域の特徴】**

三次地区は、ふれあい会館（三次コミュニティセンター）を中心として半径500m圏内に、保育所、小・中学校、病院、福祉施設、金融機関、食料品店、コンビニエンス・ストア、公共交通（路線バス、高速乗合バス）等の、町の機能と生活機能が一定程度整っている「コンパクト・シティ」と言える地域です。

また、歴史的な町並みに加え、河川に囲まれ、尾関山、比熊山、郊外には田園風景が広がり、四季を通じて魅力あふれる地域です。

**【これから】**

他の地域と同様、少子高齢化、人口減少、防災・安全、空き家等の課題を抱えています。こうした課題に向けては、行政の取組とともに、三次地区に暮らす住民一人ひとりが、これまで以上に、地域内での人と人とのつながりや、ふれあいが重要となります。自然や歴史を活かし、新たな拠点や地域に残る資源活用をとおして、これまでの活動を継続・充実させながら「もっと もっと “もっと” いい町へ」向けたまちづくりを進めていこうではありませんか。

三次まちづくりビジョン策定委員会  
 三次地区自治会連合会  
 〒728-0021 三次市三次町1828-5 三次コミュニティセンター内  
 TEL/FAX 0824-62-3612